

気仙沼市立鹿折小学校

2014年 12月 19日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

(1) 「絆がした卒業証書、語らぬ君へ 気仙沼の小学校」朝日新聞 デジタルの記事より 2011年3月25日

【場所】

気仙沼湾から約1.4km、鹿折川から約90m離れた
位置にある。

住所:宮城県気仙沼市西八幡町54-1



【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が1.4mの浸水。

【震災当日の様子】

大きな揺れのあと、児童は上履きのまま高台へと逃げた。しかし、保護者に引き渡した兄弟の児童3名が亡くなった。また、さらに2名が行方不明である。

校舎は津波により1.4mの高さまで水につかった。(1)

【調査して言えること】

海から約1.4km離れているが、学校の標高は約3mで、鹿折川から約90mの場所にあるため、地震の際は津波を警戒した避難の必要な学校である。

学校の裏側は山になっており、山と学校の間にある道路は学校よりも標高が高く10mほどある。この道路は山を登る道にも繋がっており、山の中腹の標高が20m以上ある場所へ行くことができる。

学校の近くに避難できる山があり、学校外への避難がしやすい学校である。



西から見た学校(2014/3/18撮影)



山と学校の間にある道路(2014/3/18撮影)

※ この道路は山を登る道に繋がっている。